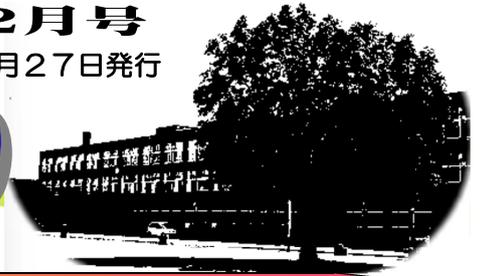




# 啓北だより

啓北中50年の底力:つなぎ、広げ、前へ



## 3学期は進級・進学に向けた準備期間

# 大人への階段をのぼる中学生たち

3学期を例えると「大人の階段をのぼる」イメージです。次のステージへ向かう大切な準備期間です。階段の高さや歩幅は、人それぞれで構いません。軽やかにのぼることができる日もあれば、足が重くて踊り場で立ち止まる日もあるでしょう。大切なのは、自分のペースで「一段」をしっかり踏みしめることです。その一歩一歩が、あなたという人間を成長させ、視界を少しずつ広げてくれます。



卒業を控えた3年生、最高学年への準備を始める2年生、そして先輩になる1年生。この短い3学期を、ただの通過点ではなく、自分を磨く「研磨の時」にしましょう。

時には息が切れることもあるはずですが、そんな時は隣の友人と励まし合い、身近な保護者や先生方などの大人を頼ってください。皆さんが一段のぼるごとに、表情が少しずつたくましくなっていく姿を見守るのが、私たち大人の何よりの喜びです。

さあ、顔を上げて、新しい自分に会いに行きましょう。

### 大人の階段をのぼる3つのポイント

- ① 自分のペースを大切に→周りとは比べず、昨日の自分より一段上へ
- ② 「踊り場」の活用→疲れたら休んで、振り返る勇気も必要です
- ③ 仲間の存在→同じ階段をのぼる友人は、一生の宝物になります



## 令和8年度 高等学校入学者選抜試験

# 花開け！努力を信じて

1月から通信制高校や旭川工業高等専門学校推薦入試、私立高校推薦が始まり、2月には公立高校の推薦入試や私立高校の一般入試が行われました。残すところ3月の公立高校の一般入試のみです。私立・公立ともに、受検者の願書等作成の負担軽減と、中学校・高等学校における事務作業の効率化などを図るため、出願手続の一部において電子化が導入されました。時代は高校入試でもデジタル化が進展しています。また、今、国会では令和8年度より高校の就学支援金制度（所得制限なしの授業料無償化）が拡充される見込みになっており、予算化を注視する必要があります。

### 【進路希望状況】（2月末現在）

国・公立	人数	公立	人数	私立	人数	通信	人数	高等支援・その他	人数
旭川高専	5	旭川商業	2	旭川志峯	1	クレーク記念国際	4	高等支援	3
旭川東	5	旭川工業	3	旭川実業	33	皇旗国際旭川	4	その他	1
旭川北	6	旭川農業	0	旭川藤星	11	※3年生は77名です。公立と私立高校の複数校を受検している生徒が多くいます。			
旭川西	3	鷹栖	4	旭川明成	7	啓北中の傾向が分かりますね。			
旭川永嶺	6	市外	1	旭川龍谷	1				
旭川南	3	道外	1	市外	1				



# 今後、部活動の在り方が変わります

子どもたちにとって中学校入学で楽しみの1つは部活動です。その部活動の在り方が、保護者世代の頃と事情が変わりつつあります。少子化や教員の働き方改革の影響もあり、部活動を学校の外、つまり地域での活動に変えようとする動きが国主導で進みつつあります。

部活動の地域展開とは、これまで学校の教員が中心となって担ってきた部活動の運営や指導を、地域のクラブや団体、外部指導者などと連携・移行していく取組のことです。単に「地域移行」するのではなく、地域ぐるみで活動の場を広げ、新たな価値を創出していくという考え方から「地域展開」という名称が使われています。

国の方針では、2026年時点で「地域展開」に着手していない地方公共団体においても、2028年までの期間で確実に休日の地域展開等に着手するとされています。一部の地域・自治体で地域展開が進みつつありますが、まだ旭川市では明確なプランは提案されていません。しかし、本校では、今後の展開を見据え、生徒・保護者・教職員の負担に配慮しつつ、急激な部活動の変化にならないよう、道内先進校の取組を参考にして改善できる取組から少しずつ推進してきています。ご理解とご協力をお願いします。

## 《これまでの取組》

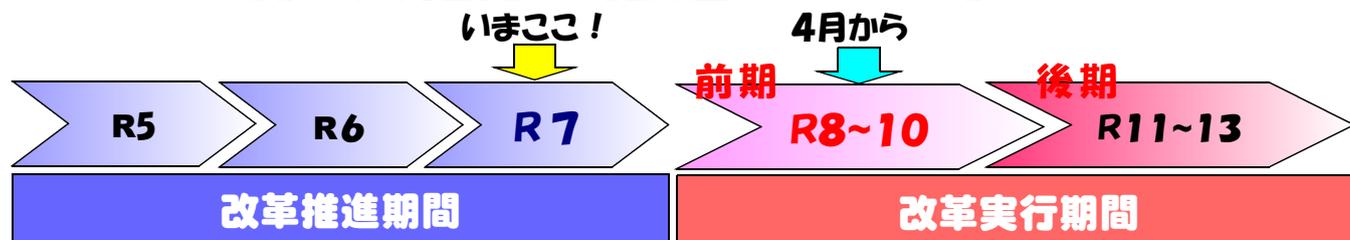
- ・野球部や女子バスケットボール部の合同チーム化
- ・男子卓球部への部活動指導員の配置
- ・平日1日以上、週末1日以上の休養日の設定



## 《今後の取組》

- ・設置部活動以外の種目の大会出場については、基本的にクラブチームからの出場
- ・毎週、水曜日の休養日の固定化（習い事等の計画的な活用や放課後の補習時間の確保等）
- ・生徒の安全な下校を保障した活動時間（通年、原則18：00下校）や休養日の確保

## 《スポーツ庁・文化庁の推進イメージ》



### 【改革実行期間 前期】

- ・原則すべての学校で、休日の部活動を地域で行うことを目指しています
- ・平日の部活動も地域の実情に応じて段階的に移行することを目指しています

### 【改革実行期間 後期】

- ・中間評価をもとに、さらに平日の地域展開を推進を目指しています



部活動改革ポータルサイト

## 中1ギャップ解消の取組

小学校から中学校への進学は、短期間で大きく環境が変化します。急激な環境変化に、子どもたちの心と身体がパンクしてしまうのを緩和するために、小学校6年生を対象にした『中1ギャップ解消の取組』を行っています。

2月には中学校の先生が小学校で授業をする「乗り入れ授業（英語）」を行いました。また、入学説明会では、中学校に来て授業を参観したり、学習や生活などについて中学1年生の説明を聞いたりするなどの場を設定し、少しでも不安や悩みを減らす取組を行っています。2月末現在で、新1年生の入学人数は65名です。ワクワクした気持ちで中学校に入学してほしいです。

